

南陽図書館つうしん 2021 秋号

〒455-0857 名古屋市港区秋葉一丁目 130-79

TEL:052-301-2116 Fax:052-301-2117

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は開館し、直後の平日を休館)

第3金曜日(祝日の場合は開館)年末年始(12/29-1/4)

特別整理期間【令和3年度 6月14日(月)~18日(金)】

名古屋市図書館ホームページ:<https://www.library.city.nagoya.jp>

小旅行

オリンピック、パラリンピックも終わり、暑い夏が過ぎていきます。

例年は夏休みといえば、旅行やイベントで大人も子どもも楽しみな時期です。残念ながらこの夏も、遠くへ足を延ばすことがままならない状態が続きました。お家時間もそれなりに楽しいのですが、季節ごとどこかへ出かけたいと個人的には思うのです。

4月に異動してきて、初めのうちは通勤にさえあたふたしていましたが、少し慣れてくると南陽地域を全く知らないことに気がつきました。これではいけないと7月前半の仕事帰りに、田んぼアートへ足を運んでみました。図書館から少し離れただけでこんなにも広々とした空間が広がっていることにびっくりしました。田んぼアート自体も夕日に映えてとても素敵でした。街中では味わえない開放感があり、ちょっとした気分転換になりました。

しばらくはこんな小旅行的な楽しみ方もいいのかもしれません。涼しくなったら、また図書館の近くを巡ろうと思っています。戸田川緑地にしましょうか？それとも藤前干潟まで？(な)



この印刷物は再生紙を利用しています。

おすすめ
します！

新しく入った本の紹介



方向音痴って、なおるんですか？

吉玉サキ／著 交通新聞社 (448)

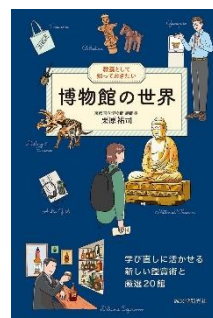
方向音痴の人は、地図があってもなぜ迷うのか？迷わないコツはあるのか？地図はどう読めばいいのか？そもそも方向音痴は「治る」のか？方向音痴の著者が、専門家のアドバイスを聴きながら、方向音痴の克服をめざすエッセイ。



コロナ禍、貧困の記録 2020年、この国の底が抜けた

雨宮処凛／著 かもがわ出版 (368)

長年貧困問題に携わってきた著者が聞いた、コロナ禍で貧困状態となった人たちの悲鳴。助けを求める人たちに死なないためのノウハウを教える。2020年、コロナ禍における支援現場での助け合いの記録。



博物館の世界 教養として知っておきたい

栗原祐司／著 誠文堂新光社 (069)

常設展は一回見れば十分ではない。実は頻繁に展示替えやマイナーチェンジを行っている…博物館マニアでもある、京都国立博物館副館長が語る、一味違った博物館鑑賞術。

小説火の鳥 大地編(上下巻)

手塚治虫／原案 桜庭一樹／著 朝日新聞出版 (F)

1938年、日本占領下の上海。関東軍将校の間久部緑郎は、楼蘭に生息するという伝説の「火の鳥」調査隊長に任命される…。手塚治虫の構想原稿を元に桜庭一樹が描き上げた、新しい「火の鳥」。

表紙画像は、出版社の許諾済みです。

★南陽図書館からのお知らせ★

行事実施のご報告

南陽図書館では、夏休みに下記の行事を開催しました！

- ・7月31日(土) しゃぼんだま 夏のウキウキおはなし会
ボランティアグループ「しゃぼんだま」さんによる、楽しいおはなし会でした。
＊次回の「ウキウキおはなし会」は11月に開催予定です。

- ・8月7日(土) こわーいおはなし会
明かりを消したくーい部屋で、こわーい絵本やかみしばいを読みました。

- ・7月28日(水) 藤前干潟ワークショップ
干潟についてのお話を聞いた後、トビハゼを間近に見ながらスケッチをしました。
ペーパーキャップも上手にできて、頭にかぶりました！



- ・8月21日(土) こども昆虫教室



先生から、木や草むらで隠れている昆虫についてのお話を聞きました。それから、「ある特徴(とても強い、草の中だと見つからないなど)」を持った昆虫を考えて、思い思いに描きました！

また、1階カウンター横では、今年度も昆虫標本やトビハゼを展示しました！
行事に参加して下さった皆さん、標本やトビハゼを見て下さった皆さん、
ありがとうございました！！

「雨、あめ」 ピーター・スピアー／[作] 評論社

秋の夜長に

37年間の教員生活を終え、新たな1年目を南陽図書館で迎えることができました山田です。力不足ですが、図書館の利用者の方に貢献できるよう、努力していきたいと思います。

教員の時、本を用いた授業をするのが好きでした。絵本の読み聞かせや本を資料として用いることはもちろん、子ども達に文章の一部を紹介し、図書室にある本を探すというゲームをしたこともあります。ピーター・スピアー著「雨、あめ」という二人の姉弟が雨の中、遊びに出かけるという絵本を用いて、想像する楽しさを味わうという授業もしました。この本には、文字がありません。絵を見て、姉弟の気持ちを想像し、子ども達が発表します。「細かいところまで見て、考えてるね」、「へー、この絵からそうやって考えるんだ」など、発表を聞き、想像する楽しさを共有しました。

このように、本は想像する楽しみを持っています。自分が体験したことがないことが文章や絵に表されています。想像することで、自分がヒーローになったり、悪人になったりすることができます。想像する楽しさを味わうために、

読書をしてみてはいかがでしょうか。

行事のお知らせ

・秋のおたのしみ演芸会

スケッチブック昔話や漫談を行います。

日時：10月23日(土) 午後1時30分～2時30分

申込：10月12日(火)午前9時30分～

来館または電話にて受付(先着順) 定員：9名

＊詳しくは、チラシや図書館ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の状況によって、日程の変更や開催を中止することがあります。

